

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 18

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	火葬施設整備事業			担当部署	市民部美化センター	
総合計画上の位置付け	快適-自然と共生するまちをつくる-さわやかな生活環境を保全する-環境美化の推進					▼
対象	赤穂市斎場					
手段(方法)	定期点検や施設整備を計画的に実施する					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	火葬施設の定期点検を行い、この点検結果に基づいた計画的な施設の整備・補修を実施し、予防保全を図ることによって施設の故障に起因して斎場業務が停止するといった事態を回避し、円滑な業務の遂行に資する					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	赤穂市斎場及び葬祭事業に関する条例					
その他実施の根拠						
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	計画的な施設の整備・補修を行い、安定した葬祭業務を図る					
単年度目標(達成状況)	29年度実績	定期点検や施設整備を計画的に実施した			達成状況	100 %
	30年度実績	定期点検や施設整備を計画的に実施した			達成状況	100 %
	元年度計画	定期点検や施設整備を計画的に実施する			達成状況	- %
	元年度実績	定期点検や施設整備を計画的に実施した			達成状況	100 %
	2年度計画	定期点検や施設整備を計画的に実施する			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
施設等整備		1	1	1	1	1
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
斎場等整備		19,305,000	7,684,200	5,500,000	5,330,000	5,000,000
火葬炉施設修繕		15,822,000	2,322,000	5,500,000	5,330,000	5,000,000
空調機改修		3,483,000	4,525,200			
地下タンク油面計設置			837,000			
財源内訳	国県支出金					
	地方債	13,000,000	4,000,000			
	その他					
	一般財源	6,305,000	3,684,200	5,500,000	5,330,000	5,000,000
直接事業費総額		19,305,000	7,684,200	5,500,000	5,330,000	5,000,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	12	12	12	12	12
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		228,000	228,000	228,000	228,000	228,000
総事業費計		19,533,000	7,912,200	5,728,000	5,558,000	5,228,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	30年度 1・2号炉耐火材補修、金物材、設備機器工事、地下タンク油面計設置、炉前ホール空調機改修 元年度 1～3号炉、動物炉耐火材補修、棺運搬台オーバーホール外、通風設備排気ファンオーバーホール(1系列)外				
	元年度予算と2年度予算の比較	元年度 1～3号炉、動物炉耐火材補修、炉内台車修繕 2年度 1、4号炉、動物炉耐火材補修、炉内台車修繕、通風設備排気ファンオーバーホール(3系列)				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	毎年、定期点検に基づく施設整備を実施しているところであるが、施設の長寿命化を検討する必要がある
市民のニーズ・満足度	
連携事業	斎場施設運営管理業務(美化センター)
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="3"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	本事業の実施によって円滑に火葬業務を遂行することができた 引き続き、施設の適切な維持管理に努める
次年度予算への見直し方針	—
関連部課等との協議状況	年次別整備計画
関連部課	財政課
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	定期点検に基づく施設整備を毎年実施しているところであるが、施設の更なる長寿命化を計画、実施する
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 安定かつ効率的な施設運営を推進するため、計画的な施設整備を実施する
	3年度以降の展開方針 安定かつ効率的な施設運営を推進するため、計画的な施設整備を実施する
部長の確認所見	継続して計画的な施設整備を実施し、円滑な火葬業務の執行に努めること

# 令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 19

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	管理施設整備事業	担当部署	市民部美化センター			
総合計画上の位置付け	快適-自然と共生するまちをつくる-地球環境にやさしいまちをつくる-ごみ処理施設の整備					▼
対象	ごみ処理施設					
手段(方法)	美化センターの場内施設整備を計画的に実施する					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	場内施設整備を計画的に実施することにより、安定したごみ処理業務を行うとともに、来場者の利便性の向上と構内の事故防止を図る					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	①廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ②赤穂市廃棄物の処理及び清掃に関する条例					
その他実施の根拠						
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	計画的な施設の整備・補修を行い、安定した施設の運営を図る					
単年度目標(達成状況)	29年度実績	施設整備を計画的に実施した			達成状況	100 %
	30年度実績	施設整備を計画的に実施した			達成状況	100 %
	元年度計画	施設整備を計画的に実施する			達成状況	- %
	元年度実績	施設整備を計画的に実施した			達成状況	100 %
	2年度計画	施設整備を計画的に実施する			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
管理施設整備		1	1	1	1	1
管理施設整備						
管理施設整備						
管理施設整備						
管理施設整備						
管理施設整備						
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
管理施設整備		5,265,000	1,139,400	21,000,000	20,655,800	400,000
高圧ケーブル更新		5,265,000				
場内整備			1,139,400	21,000,000	20,655,800	
現場事務所・作業員詰所整備						400,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債			15,700,000	15,400,000	
	その他					
	一般財源	5,265,000	1,139,400	5,300,000	5,255,800	400,000
直接事業費	費 総 額	5,265,000	1,139,400	21,000,000	20,655,800	400,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	4	4	4	4	4
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人 件 費 総 額		76,000	76,000	76,000	76,000	76,000
総 事 業 費 計		5,341,000	1,215,400	21,076,000	20,731,800	476,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	30年度 車庫照明器具改修、場内案内看板整備、ごみ計量器放送設備工事 元年度 ストックヤード整備工事				
	元年度予算と2年度予算の比較	元年度 ストックヤード整備工事 2年度 現場作業員待機室空調機更新工事				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	場内安全施設の不備により、場内を走行する車両の安全確認が不完全である。また、場内の各施設に不慣れな方が来場された際に迷走されることが多々ある。
市民のニーズ・満足度	
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 2 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 2 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 3 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等に対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等に対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 3 民間委託等に対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 100 % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	本事業の実施によって円滑な施設運営を図ることができた 引き続き、施設の適切な維持管理に努める
次年度予算への見直し方針	—
関連部課等との協議状況	管理施設整備事業計画
関連部課	財政課
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
	場内ごみ処理作業効率と安全性の確保のため、施設整備を推進する 案内看板、路面標示については、来場者の円滑かつ安全な施設利用のため実施する
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 安定かつ効率的な施設運営を推進するため、計画的な施設整備を実施する
	3年度以降の展開方針 安定かつ効率的な施設運営を推進するため、計画的な施設整備を実施する
部長の確認所見	継続して計画的な施設整備を実施し、円滑な施設運営に努めること

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 20

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	清掃車両等整備事業	担当部署	市民部美化センター			
総合計画上の位置付け	快適-自然と共生するまちをつくる-地球環境にやさしいまちをつくる-ごみ処理施設の整備					▼
対象	清掃車両等					
手段(方法)	老朽化した既存ごみ収集車両等の更新整備					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	円滑なごみ収集業務に資するため計画的かつ適切な車両の更新整備を実施する					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	①廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ②赤穂市廃棄物の処理及び清掃に関する条例					
その他実施の根拠						
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	計画的な車両の更新整備により、円滑な収集業務等の遂行を図る					
単年度目標(達成状況)	29年度実績	適切な車両管理を行い、計画的な車両更新を実施した			達成状況	100 %
	30年度実績	適切な車両管理を行い、計画的な車両更新を実施した			達成状況	100 %
	元年度計画	適切な車両管理を行い、計画的な車両更新を実施する			達成状況	- %
	元年度実績	適切な車両管理を行い、計画的な車両更新を実施した			達成状況	100 %
	2年度計画	適切な車両管理を行い、計画的な車両更新を実施する			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
清掃車両等整備		2	2	1	1	2
ごみ収集車整備台数		2	1	1	1	1
バックホウ整備台数			1			
ホイールローダ整備台数						1
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
清掃車両等整備		9,589,966	15,613,681	7,316,700	7,290,879	14,000,000
ごみ収集車整備		9,471,600	6,242,400	6,919,000	6,919,000	7,590,000
バックホウ(0.5m3)整備			8,996,400			
ホイールローダ整備						6,000,000
無線機更新			313,200	319,000	319,000	319,000
諸経費		118,366	61,681	78,700	52,879	91,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債	7,100,000	11,400,000	5,100,000	5,100,000	10,100,000
	その他					
	一般財源	2,489,966	4,213,681	2,216,700	2,190,879	3,900,000
直接事業費総額		9,589,966	15,613,681	7,316,700	7,290,879	14,000,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	1	1	1	1	1
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		19,000	19,000	19,000	19,000	19,000
総事業費計		9,608,966	15,632,681	7,335,700	7,309,879	14,019,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	更新車両の種類と台数が異なるため				
	元年度予算と2年度予算の比較	更新車両の種類と台数が異なるため				

### 3 事務事業に関する自己診断(CHECK)

事務事業遂行上の課題	適切な車輛管理により使用年数の延長を図りながら、計画的な更新整備を行う必要がある		
市民のニーズ・満足度			
連携事業			
関連事業			
対象の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり		
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業		
手段の妥当性	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 3 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある		
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )		
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている		
有効性	目標達成度	100 %	理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )		

### 4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)

事務事業実施による成果と課題	引き続き適切な車輛管理に努めるとともに、計画的な更新整備を実施する必要がある		
次年度予算への見直し方針	—		
関連部課等との協議状況	清掃車輛等整備計画		
関連部課	財政課		
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持)	▼
	引き続き、適切な車輛管理により使用年数の延長を図りながら、計画的な更新整備を行う		

### 5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)

上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )		
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持)	▼
	2年度の取り組み方針	適切な車輛管理に努め、日常業務に支障を来さないよう計画的な更新整備を図る	
	3年度以降の展開方針	適切な車輛管理に努め、日常業務に支障を来さないよう計画的な更新整備を図る	
部長の確認所見	業務に支障を来さないよう、適切な車輛管理と更新整備を図ること		

# 令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 21

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	ごみ処理施設整備事業	担当部署	市民部美化センター			
総合計画上の位置付け	快適-自然と共生するまちをつくる-地球環境にやさしいまちをつくる-ごみ処理施設の整備					▼
対象	ごみ処理施設(焼却施設、粗大ごみ処理施設、リサイクル施設)					
手段(方法)	ごみ処理施設の定期点検や施設整備を計画的に実施する					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	定期点検や施設整備を計画的に実施することにより、適正かつ円滑な廃棄物処理を行うとともに施設の延命化を図る					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	①廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ②赤穂市廃棄物の処理及び清掃に関する条例					
その他実施の根拠						
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	計画的な施設整備を実施し、安定した施設運営を行う					
単年度目標(達成状況)	29年度実績	定期点検、施設整備を適切に実施した			達成状況	100 %
	30年度実績	定期点検、施設整備を適切に実施した			達成状況	100 %
	元年度計画	定期点検、施設整備を適切に実施する			達成状況	- %
	元年度実績	定期点検、施設整備を適切に実施した			達成状況	100 %
	2年度計画	定期点検、施設整備を適切に実施する			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
ごみ処理施設整備		1	1	1	1	1
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
ごみ処理施設整備		95,399,856	108,104,976	117,600,000	117,561,102	123,000,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債	53,100,000	58,800,000	74,300,000	71,600,000	70,900,000
	その他					
	一般財源	42,299,856	49,304,976	43,300,000	45,961,102	52,100,000
直接事業費総額		95,399,856	108,104,976	117,600,000	117,561,102	123,000,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	1	1	1	1	1
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		19,000	19,000	19,000	19,000	19,000
総事業費計		95,418,856	108,123,976	117,619,000	117,580,102	123,019,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	施設の安定運用のための設備補修の増(施設の経年劣化による補修箇所、内容の増加)				
	元年度予算と2年度予算の比較	施設の安定運用のための設備補修の増(施設の経年劣化による補修箇所、内容の増加)				

**3 事務事業に関する自己診断(CHECK)**

事務事業遂行上の課題	老朽化した施設に対応した長寿命化計画の策定による整備工事の実施		
市民のニーズ・満足度			
連携事業	ごみ処理施設運転管理(美化センター)		
関連事業			
対象の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり		
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業		
手段の妥当性	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 3 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある		
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )		
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている		
有効性	目標達成度	100 %	理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )		

**4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)**

事務事業実施による成果と課題	引き続き施設の適正管理に努めるとともに、計画的に施設の点検整備を実施する必要がある		
次年度予算への見直し方針	-		
関連部課等との協議状況	ごみ処理施設整備計画		
関連部課	財政課		
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持)	▼
	定期的な施設点検の実施とこれに基づく適切な施設整備を実施する		

**5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)**

上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )		
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持)	▼
	2年度の取り組み方針	適切な施設の維持管理を継続実施する	
	3年度以降の展開方針	施設の精密機能診断を実施し、適切な施設の維持管理を継続実施する	

部長の確認所見	適切な施設の維持管理を継続的に推進するとともに、今後の施設整備について検討を進めること
---------	---



# 令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 22

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	不燃物最終処分場整備事業	担当部署	市民部美化センター			
総合計画上の位置付け	快適-自然と共生するまちをつくる-地球環境にやさしいまちをつくる-ごみ処理施設の整備					▼
対象	不燃物最終処分場					
手段(方法)	浸出液処理施設及び埋立法面等の計画的整備					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	定期点検や施設整備を計画的に実施することにより、適正かつ円滑な廃棄物処理を行うとともに施設の延命化を図る					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	①廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ②赤穂市廃棄物の処理及び清掃に関する条例					
その他実施の根拠						
始期・終期	S59	年度	～	年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	施設の適切な管理及び施設整備を行うとともに、周辺環境の整備に努める					
単年度目標(達成状況)	29年度実績	適切な管理及び施設整備を実施した			達成状況	100 %
	30年度実績	適切な管理及び施設整備を実施した			達成状況	100 %
	元年度計画	適切な管理及び施設整備を実施する			達成状況	- %
	元年度実績	適切な管理及び施設整備を実施した			達成状況	100 %
	2年度計画	適切な管理及び施設整備を実施する			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
施設整備等		1	1	1	1	1
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
施設整備等		30,843,720	1,993,680	1,800,000	1,776,600	1,800,000
浸出液処理施設整備		2,268,000	1,993,680	1,800,000	999,000	1,800,000
埋立法面等整備		3,735,720				
原水ゲート整備工事					777,600	
剪定木破砕機更新		24,840,000				
財源内訳	国県支出金					
	地方債	21,400,000				
	その他					
	一般財源	9,443,720	1,993,680	1,800,000	1,776,600	1,800,000
直接事業費総額		30,843,720	1,993,680	1,800,000	1,776,600	1,800,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	24	24	24	24	24
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		456,000	456,000	456,000	456,000	456,000
総事業費計		31,299,720	2,449,680	2,256,000	2,232,600	2,256,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	整備内容の減				
	元年度予算と2年度予算の比較	同額				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	適切な施設管理による処分場の延命化
市民のニーズ・満足度	
連携事業	不燃物最終処分場管理(美化センター)
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
	下の該当番号を記入 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 3 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
有効性	目標達成度 100 % 理由等所見欄 上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	本事業により施設の適切な整備を実施することができた 引き続き、適切な施設の維持管理と整備により施設の延命化と周辺環境の保持を図る
次年度予算への見直し方針	—
関連部課等との協議状況	不燃物最終処分場整備計画
関連部課	財政課
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
	最終処分場の延命化と浸出液処理施設等の適正管理を推進する
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 最終処分場の延命化と浸出液処理施設等の適正管理を推進する
	3年度以降の展開方針 埋立計画に従い、法面及び施設の適切な整備を実施する 浸出水処理施設再整備計画を策定し計画的な施設整備を行う
部長の確認所見	最終処分場の延命化と施設の適正管理を推進すること

# 令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 209

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	資源ごみ集団回収奨励事業	担当部署	市民部美化センター
総合計画上の位置付け	快適-自然と共生するまちをつくる-地球環境にやさしいまちをつくる-ごみリサイクルシステムの推進		
対象	登録団体及び登録業者		
手段(方法)	1 登録団体に対し、回収資源ごみ1kgあたり4円を奨励金として交付 2 登録業者に対し、登録団体から引渡しを受けた回収資源ごみ1kgあたり2円を育成助成金として交付(23年10月以降、0円)		
手法(該当番号を記入)	4 <input type="checkbox"/> 1 直営 <input type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金		
意図(ねらい)	本事業を実施することにより、ごみの分別、減量、資源化を推進し、資源循環型社会の構築を図る。		
実施の必要性(該当番号を記入)	1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	1 赤穂市資源ごみ集団回収奨励金交付要綱 2 赤穂市資源ごみ回収業者育成助成金交付要綱		
その他実施の根拠			
始期・終期	H2 年度 ~ 年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	資源ごみ集団回収目標量 R2年950トン (毎年、赤穂市一般廃棄物処理計画(実施計画)により年度計画値を設定)		
単年度目標(達成状況)	29年度実績	1,219トン	達成状況 76.2 %
	30年度実績	1,082トン	達成状況 77.3 %
	元年度計画	1,200トン	達成状況 - %
	元年度実績	988トン	達成状況 82.3 %
	2年度計画	950トン	達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
登録団体数		82	82	82	82	79
登録業者数		4	4	4	4	4
回収量(トン)		1,219	1,082	1,200	988	950
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
団体奨励金		4,862,400	4,317,300	5,200,000	3,940,900	4,400,000
業者育成助成金						
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	4,862,400	4,317,300	5,200,000	3,940,900	4,400,000
直接事業費総額		4,862,400	4,317,300	5,200,000	3,940,900	4,400,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	20	20	20	20	20
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		380,000	380,000	380,000	380,000	380,000
総事業費計		5,242,400	4,697,300	5,580,000	4,320,900	4,780,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	回収量の減少による減額				
	元年度予算と2年度予算の比較	回収量の減少による減額				

### 3 事務事業に関する自己診断(CHECK)

事務事業遂行上の課題	ごみ減量・資源化推進には住民意識の向上が不可欠であり、常に働きかけが必要である			
市民のニーズ・満足度				
連携事業				
関連事業				
対象の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり			
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄	
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業			
手段の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある			
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	2	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )			
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	2	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている			
有効性	目標達成度	82.3 %	理由等所見欄	
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )			

### 4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)

事務事業実施による成果と課題	本事業は、資源ごみを家庭において一定の保管期間を必要とするため、近年増加している民間回収ボックスへの排出が多く見受けられることから、年間回収量は減少傾向にある	
次年度予算への見直し方針	業者育成助成金については、古紙市況等の劇的な変化がない限り引き続き助成しない、また登録団体への奨励金交付については、28外部評価後、見直した結果、奨励金は登録団体の運営に必要な財源であり、団体の回収活動が地域貢献に寄与しているため事業は継続する	
関連部課等との協議状況		
関連部課		
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持) ▼
	更なるごみの減量・資源化、また地域力強化のため、継続して実施する 民間回収ボックスについては、官民の違いはあるが、ごみの減量・資源化に寄与していると考えられる	

### 5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)

上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )		
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持) ▼	
	2年度の取り組み方針	登録団体の意見を参考にしながら、将来的な改善に向け検討を試みる	
	3年度以降の展開方針	登録団体の意見を参考にしながら、将来的な改善に向け検討を試みる	
部長の確認所見	資源循環型社会構築のため、継続実施とする		

# 令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 210

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	ごみ減量・資源化推進事業	担当部署	市民部美化センター
総合計画上の位置付け	快適-自然と共生するまちをつくる-地球環境にやさしいまちをつくる-ごみリサイクルシステムの推進		
対象	市民		
手段(方法)	1 ごみ減量・資源化啓発(ごみ減量・資源化啓発チラシ・ポスター、広報掲載など) 2 ごみ減量・資源化推進月間における啓発活動の展開 3 生ごみ堆肥化容器等購入助成 4 容器包装廃棄物等の再資源化処理 5 使用済小型家電のリサイクル		
手法(該当番号を記入)	2 <input type="checkbox"/> 1 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金		
意図(ねらい)	本事業を実施することにより、ごみの分別、減量、資源化を推進し、資源循環型社会の構築を図る		
実施の必要性(該当番号を記入)	1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	1 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 2 赤穂市廃棄物の処理及び清掃に関する条例 3 赤穂市生ごみ堆肥化容器等購入助成金交付要綱 4 容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律 5 使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律		
その他実施の根拠	ごみ減量・資源化の推進		
始期・終期	年度 ~ 年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	赤穂市一般廃棄物処理計画(実施計画)に基づき、ごみの排出抑制と分別推進、減量・資源化及び適正なごみ処理を図る		
単年度目標(達成状況)	29年度実績	赤穂市一般廃棄物処理計画(実施計画)に基づき、ごみの排出抑制と分別推進、減量・資源化及び適正なごみ処理を図る	達成状況 100 %
	30年度実績	赤穂市一般廃棄物処理計画(実施計画)に基づき、ごみの排出抑制と分別推進、減量・資源化及び適正なごみ処理を図る	達成状況 100 %
	元年度計画	赤穂市一般廃棄物処理計画(実施計画)に基づき、ごみの排出抑制と分別推進、減量・資源化及び適正なごみ処理を図る	達成状況 - %
	元年度実績	赤穂市一般廃棄物処理計画(実施計画)に基づき、ごみの排出抑制と分別推進、減量・資源化及び適正なごみ処理を図る	達成状況 98.7 %
	2年度計画	赤穂市一般廃棄物処理計画(実施計画)に基づき、ごみの排出抑制と分別推進、減量・資源化及び適正なごみ処理を図る	達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
ごみ処理量(トン)		18,358	18,162	17,688	17,920	17,560
生ごみ処理機/堆肥化容器(基数)		11/23	7/18	8/20	6/18	8/20
容リ協リサイクル量(トン)		357	359	409	368	362
小型家電リサイクル量(kg)		1,817	2,817	2,000	3,250	2,500
直接事業費 単位:円		29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
ごみ減量・資源化推進事業(H26.10~小型家電含)		382,025	352,854	391,000	310,245	281,000
生ごみ堆肥化容器等購入助成		265,300	178,500	220,000	159,900	220,000
容器包装廃棄物再資源化処理委託		143,177	134,769	209,000	151,392	169,000
計		790,502	666,123	820,000	621,537	670,000
財源内訳	国県支金					
	地方債					
	その他	252,045	377,861	200,000	156,837	300,000
	一般財源	538,457	288,262	620,000	464,700	370,000
直接事業費総額		790,502	666,123	820,000	621,537	670,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	240	240	240	240	240
	技能職員:人日数	24	24	24	24	24
	臨時職員:人日数	12	12	12	12	12
人件費総額		5,000,400	5,001,600	5,026,800	5,026,800	5,026,800
総事業費計		5,790,902	5,667,723	5,846,800	5,648,337	5,696,800
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	ごみ減量・資源化推進事業費の縮小により減額				
	元年度予算と2年度予算の比較	ごみ減量・資源化推進事業費及び容器包装廃棄物再資源化処理事業費の縮小により減額				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	ごみ減量・資源化推進には住民意識の向上が不可欠であり、常に働きかけが必要である
市民のニーズ・満足度	
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
	下の該当番号を記入 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒⇒⇒⇒ 下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 2 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 2 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
有効性	目標達成度 98.7 % 理由等所見欄 上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 2 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	更なるごみの減量・資源化を推進するため、効率的で効果的な取り組みが必要である
次年度予算への見直し方針	ごみ減量・資源化推進には住民意識の向上が不可欠であり、有効的な働きかけを検討する
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼ 対象者を絞り込んだ、ごみ減量・資源化推進啓発活動を実施していく (広報誌、ホームページへの掲載のほか、LINEを活用し、年齢層に沿った啓発活動の実施を検討)
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 ごみの減量・資源化を推進するため、継続して住民意識の向上に寄与する事業に取り組む
	3年度以降の展開方針 ごみの減量・資源化を推進するため、継続して住民意識の向上に寄与する事業に取り組む
部長の確認所見	資源循環型社会構築のため、更なるごみの減量化と資源化を推進する

# 令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 211

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	資源ごみ持ち去り防止対策事業	担当部署	市民部美化センター			
総合計画上の位置付け	快適-自然と共生するまちをつくる-地球環境にやさしいまちをつくる-ごみリサイクルシステムの推進					▼
対象	市民					
手段(方法)	赤穂市廃棄物の処理及び清掃に関する条例により、持ち去り禁止対象物の収集及び運搬を禁止し、禁止命令違反者には20万円以下の罰金を科す					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	市民の安全安心なごみ出し並びにごみステーションの清潔を保持するとともに、市による一般廃棄物の適正な処理責任を果たす					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	赤穂市廃棄物の処理及び清掃に関する条例					
その他実施の根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
始期・終期	24	年度	～	年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	持ち去り行為者による持ち去り行為が発生しないこと					
単年度目標(達成状況)	29年度実績	監視パトロールの実施、指導・警告・告発の実施			達成状況	100 %
	30年度実績	監視パトロールの実施、指導・警告・告発の実施			達成状況	100 %
	元年度計画	監視パトロールの実施、指導・警告・告発の実施			達成状況	- %
	元年度実績	監視パトロールの実施、指導・警告・告発の実施			達成状況	100 %
	2年度計画	監視パトロールの実施、指導・警告・告発の実施			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
巡回パトロール実施		定期巡回実施	定期巡回実施	定期巡回実施	定期巡回実施	定期巡回実施
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
資源ごみ持ち去り防止対策事業		547,106	580,403	610,000	554,802	700,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	547,106	580,403	610,000	554,802	700,000
直接事業費総額		547,106	580,403	610,000	554,802	700,000
人件費:人日数	一般職員:人日数					
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		0	0	0	0	0
総事業費計		547,106	580,403	610,000	554,802	700,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	住宅地図の更新を見送ったことによる減額				
	元年度予算と2年度予算の比較	職員への通勤手当の支給による増額				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	状況により、パトロール体制等の見直しを更に検討する
市民のニーズ・満足度	
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
手段の妥当性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
有効性	目標達成度 100 % 理由等所見欄 上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	状況により、パトロール体制等の見直しを検討する
次年度予算への見直し方針	状況により、パトロール体制等の見直しを検討する
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
	状況により、パトロール体制等の見直しを検討する
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 パトロールの実施状況により、パトロール体制等の見直しを行う
	3年度以降の展開方針 パトロールの実施状況により、パトロール体制等の見直しを行う
部長の確認所見	資源循環型社会構築のため、更なるごみの減量や分別、資源化を推進するとともに、継続してごみの適正な処理責任を果たす